

健康ぐんま



2010. 11 第53号
(財)群馬県健康づくり財団

—第53号 主な記事—

- ☆ 健康づくり財団表彰が行われました
- ☆ リレー通信「応援します あなたの健康づくり」⑨
- ☆ 財団からのお知らせ

健康づくり財団表彰が行われました

去る11月11日(木)午後2時より、群馬県庁正庁の間において群馬県保健事業等功労者知事表彰式が行われ、財団法人群馬県健康づくり財団表彰も引き続き行われました。

これまで長年、結核・公衆保健・がん対策事業に従事しその発展向上に功績がある方々に鶴谷理事長から表彰状と記念品が授与されました。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

☆健康づくり特別功労者表彰

- ・石井 久之(渋川市)
- ・高野 憲樹(太田市)
- ・小沼 定夫(沼田市)

☆健康づくり功労者表彰

- ・須藤 英仁(安中市)
- ・松村 行一(藤岡市)
- ・坂詰 信隆(長野原町)
- ・武富 勝海(太田市)

- ・長谷川 一二(高崎市)
- ・永山 礼久(高崎市)
- ・綿貫 健二(前橋市)
- ・田中 照美(渋川市)
- ・茂木 喜七郎(藤岡市)
- ・高草木 喜一(みどり市)
- ・河上 正善(太田市)
- ・黒田 敏夫(桐生市)
- ・山縣 義一(渋川市)
- ・木暮 昌利(太田市)
- ・関根 一正(太田市)

☆健康づくり功労者感謝状

- ・株式会社 群桐産業(太田市)



☆11月通信

「応援します あなたの健康づくり」

健康支援の現場から⑨



健診部 健康支援課
萩野谷 美奈子

秋は様々ながん啓発イベントが行われており、「がん」について考えたり、話題にすることもあ
るのではないのでしょうか？

今回は、「**大腸がん検診**」について、お話させて
いただきたいと思います。

◆死亡数第1位（女性）の大腸がん

大腸がんによる死亡は、昭和30年代から上昇し、
近年は横ばい状態ですが、年間4万人の方が亡く
なっています。H21年度の死亡数では、**男性は、
肺がん、胃がん、に次ぐ第3位のがん**であり、**女
性は、第1位のがん**となっています。

◆大腸がん検診

日本では、厚生労働省の指針により、大腸がん
検診として推奨される検査方法は「**便潜血検査**」
であり、対象は**40歳以上の男女**で、適切な受診
間隔は**年に1回**とされています。自治体や職場検
診などで、広く行われています。

◆便潜血検査（免疫法）



この検査は、**便の一部を採取し、便中にヒトの血**

**液（ヘモグロビン）が含まれていないかどうかを調べる
検査で、下部消化管（大腸）出血の検査**として行わ
れています。上部消化管（胃や食道など）からの
出血は肛門から遠いために、血液が途中で変化し
たり、腸で吸収されたりするために検出されませ
ん。日を替えて2回（連続した2日でなくてもよ
い）便を取って検査する「**便潜血2日法**」が一般
的です。**便中に血液が混じっていれば「陽性」、血液
が混じっていなければ「陰性」**です。

◆2日間便を採取する理由

大腸がんがあったとしても、**毎日その場所から
必ず出血するわけではなく**、また、便のごく一部を
採取して行う検査なので、出血していても、**採取
する部分にたまたま血液の混入がなかった**りして
（図1）、見落とされることがあります。見落とし
を少なくし精度を上げるために2日間便を採取
するのです。

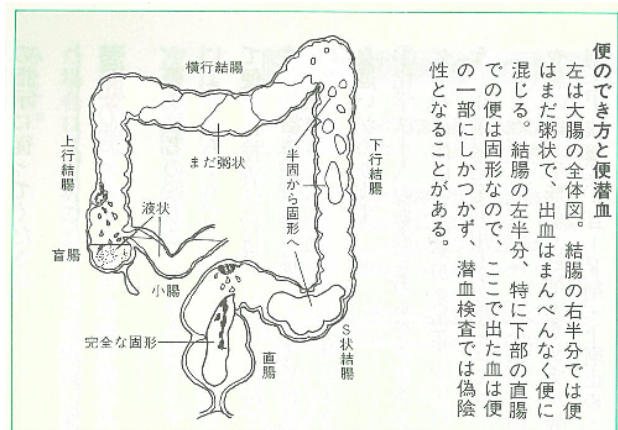


図1

◆採取の注意

- ・たまたま便が硬くて肛門が切れた場合や、女性
では月経血が混入した場合も、陽性反応がでて
しまうので、こうした時の検査は避けます。
- ・高温多湿な場所に1、2日置くとヘモグロビンが分
解して免疫反応が起きず、出血があっても陰性
になってしまいます。採便後の容器は、提出す
るときまで冷暗所に保管し、なるべく早く提出
してください。

◆便潜血検査が陽性

「便潜血陽性＝大腸がん」ではありません。

図2は当財団で実施したH20年度の便潜血検

査の結果です。受診者数 35,467 人のうち 1,793 人が便潜血検査陽性で要精密検査になりました。図 3 は便潜血陽性の方が精密検査を受けた結果です。大腸精密検査で大腸がんが判明した人が 5%にあたる 80 人(早期がん 46 人 進行がん 29 人)でした。また、ポリープが発見されたのは 593 人(腺腫性 463 人、非腺腫性 130 人)、痔が発見されたのは 133 人、憩室が発見された人は 108 人、その他の疾患が発見された人は 60 人で、更に、特に疾患がみあたらない「異常なし」の人は 424 人でした。この**便潜血検査は、がん以外の疾患「ポリープ」「憩室」「痔」などにも反応し陽性となる**ことがわかりいただけます。

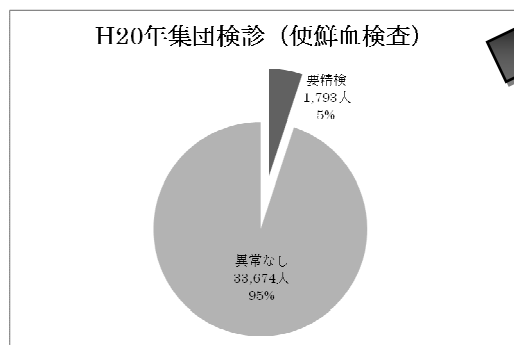


図 3

◆たった 5%?

便潜血検査陽性者のたった 5%しか、がんが見つからないの?とお思いでしょうか。ポリープにも注目してください。**腺腫性ポリープ**には、がんに進行する危険性の高いものがあり、内視鏡を使って**切除することでがんを予防**することができます。ポリープが小さくがんが進行する危険性が低い場合は経過観察になることもあります。このように、精密検査の結果から適切な受診行動をとることができ、**がんの予防・早期発見の可能性が高くなる**場合もあります。

◆便潜血検査って有効ながん検診?

有効ながん検診とは、「死亡率を減少させることが科学的に証明され、かつ、デメリットの少ない検診」です。がんの「発見率」ではありません。便潜血検査(免疫法)は厚生労働省の研究班で検討・整理され、わが国で「有効ながん検診」と認められた方法です。検査手技が簡単で、検査に要する時間が短く、費用は安く、検診者に与える危険性が少ないことから、健康な人が利用しやすい検診です。

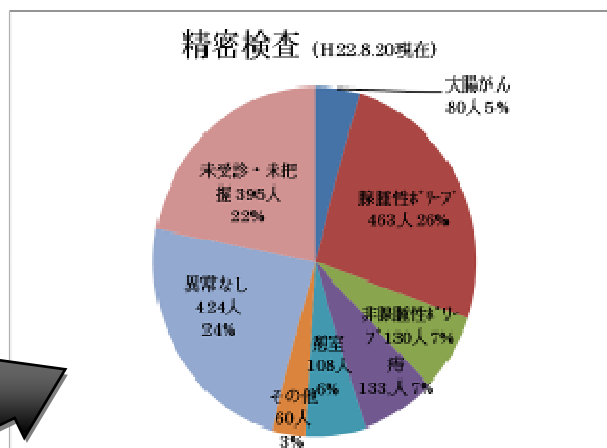


図 4

◆ためらう精密検査

・再便潜血検査は無意味

便潜血検査で陽性になったので、もう一度、便潜血検査を実施してもらいたい。と希望される方がいらっしゃいます。お気持ちはとてもわかります。しかし、**便潜血検査の再検査をしても、陽性を再確認できるとは限らないため、逆に病気を見逃す可能性が高くなります。**1回でも陽性になったら、精密検査をお勧めします。

・きっと、痔・・・だと思おう?

よく、痔で陽性になったと思われる方がいらっしゃいます。もちろん、痔で陽性を示す頻度は高いのですが、**痔と癌が共存している可能性も否定できません。**そのため、自己判断をせずに陽性と判定された場合は、必ず受診して医師にご相談することをお勧めします。

◆要精検者は医療機関を受診・・・精密検査

大腸の精密検査といえば、大腸内視鏡検査や注腸造影検査のことをさします。

便潜血検査と比べ、検査の精度はぐんと上がりますが、苦痛やリスクも少なからずあります。**十分なインフォームドコンセント(説明と同意)の上で、検査に望む**必要があります。



便潜血が陰性の場合

「便潜血が2日とも陰性 = 大腸がんではない」これも間違いです。

残念ながら、すべての大腸癌がこの検査で陽性となるわけではなく、あくまで**「2日とも便に血が混ざっていなかった」**ということではありません。

一般に、**内壁の隆起が2cm以上の大きさになると、ほぼ、陽性反応が出る**といわれています。大きなものほど、がんである可能性が高いともいえます。また、**大腸がんの一部には、腺腫の時期を経ないで、正常な粘膜からいきなり発生する平坦だったいへこんだりしているものもあります。**小さながん（特に平坦ながん）は出血しないことが多く、どうしても見逃されがちになります。便潜血検査で大腸がんを発見できる確率は、一般に、進行がんで約80%、早期がんで50%といわれます。便潜血が陰性であっても、便や腸に異常がある場合は、医療機関を受診してください。

◆ 治りやすくなった大腸がん

大腸がんの生存率は高く、がんが大腸壁内にとどまる人は95%、がんが大腸壁を貫くがリンパ節転移のない人は80%、リンパ節転移があつて遠隔転移のない人は70%の人が、5年後も生存されています。**大腸がんは見つけがいのあるがん**といわれるゆえんです。

がんが小さいうちは、がんがあつても便潜血検査が陰性と判定されてしまうことが少なくありません。しかし、たとえ、一度の検査で小さながんが見逃されたとしても、毎年検査を受けていれば治療できないような進行がんで見つかることは避けられる可能性があります。便潜血検査の意味（限界・精度）を知り、毎年継続して検査を受けること。更に、陽性という結果がでたら、必ず医療機関を受診し医師に相談することが大切です。

☆ 財団からのお知らせ ☆

年末年始業務のお知らせ

平成22年、当財団の年末年始業務は、健診（検診）部門が12月17日まで、その他が12月24日までとなり、以降、平成23年1月5日まで休業となります。

新年は1月6日（木）午前8時半からの開始となります。

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

平成22年11月15日発行
発行人／群馬県健康づくり財団
理事長 鶴谷 嘉武

〒371-0005

群馬県前橋市堀之下町16番1

電話 027-269-7811（代表）

連絡先は総務部・総務課

E-mail kenkougunma@gunma-hf.jp

【編集後記】

木々の葉も色づき、11月初旬の山の景色は見事でした。温泉で幾分ひんやりした澄んだ空気を感じながら少しずつ冬に近づく様子を満喫しました。（秋の味覚も…です）

これからも皆様からのご感想や健康づくりに関する情報をお待ちしています。